

# コロナで「生活が変化」9割超

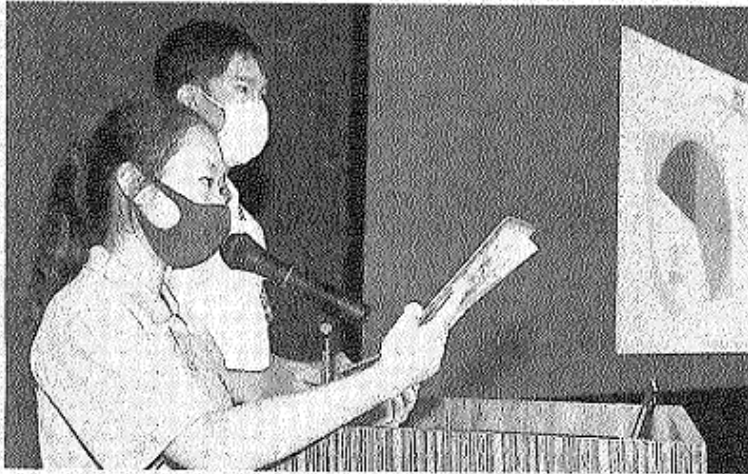
新型コロナウイルスの影響について、生徒たちはどう考えているのか。京都橘中学校・高校（伏見区）の生徒会は12日、全校生徒に実施したアンケートの結果を学園祭で報告した。「生活が変化した」と答えた生徒は9割を超え、休校期間中のオンライン授業について「良かった」とする回答は6割近かった。

生徒会は2年前から毎夏、社会問題をテーマにアンケートを実施している。一昨年の「成人年齢引き下げ」、昨年の「男女格差」に続き、今年は「コロナウイルスと私たち」。全校生徒1211人のうち、1164人が回答を寄せた。

生徒会によると、コロナの影響で生活が変化した理由は「マスクの着用」が最多だった。

## オンライン授業「良かった」6割近く

「検温」や「消毒」、「外出自粛」も目立ち、感染対策が浸透したことがうかがえた。「昼夜逆転の生活になった」など生活リズムの変化を挙げた生徒もい



アンケート結果を報告する岡快さん（手前）と林海瑠さん（伏見区の京都橘中学校・高校）

た。ニュースや新聞を見る機会が増えた、と答えた生徒も6割に上った。

オンライン授業の肯定派は「生活リズムが整う」「通学時間が省ける」などの利点を挙げた。一方、否定派は「通信環境が悪く、集中できなかった」「普段の授業より内容が足りない」などと説明。今後の改善点も見えたという。

生徒会は、延期になった東京五輪を中止しない、と答えた生徒が8割を超えたとし「スポーツが盛んな京都橘の生徒の特性が現れた」と推測。政府のコロナ対応を「悪かった」とする回答が5割近くに上ったことは「先が見えない不安などから否定的な意見が多くなった」と分析した。

生徒会長の2年生岡快さん（16）は「大人は若者の意見に耳を傾けてほしい。危機感を持ち、感染防止策を続けたい」と語った。

（白見はる菜）

2020年9月13日（日） 朝日新聞朝刊京都面

本校のコロナウイルス「全校アンケート」が紹介されました①